



甲斐市立玉幡小学校 学校だより 第1号

千一ム玉幡

平成30年 4月17日(火)

校長 望月和彦

平成30年度の玉幡小が始まりました！

3月後半からとても暖かい天気が続きました。校庭のさくらは、新入生の入学を待ちきれずに満開になり、葉桜になりかけた4月5日(木)。玉幡小学校の平成30年度がスタートしました。校庭で行われた新任式では、長谷川佳代教頭先生をはじめ、6人の新しい先生と調理員さんを紹介し、福島叶望児童会長が温かい歓迎の言葉を述べてくれました。引き続き行った始業式では、私から、全校児童の皆さんと先生方で力を合わせ、校訓「なかよく かしこく たくましく」のもと「毎日が楽しく学びのある学校をつくっていきましょう」という話をさせてもらいました。子どもたちにとっての始業式の目玉は、新しい学級担任の発表です。発表された担任の先生が、駆け足でクラスの前に立ち「よろしくお願ひします」と叫ぶと、子どもたちからは拍手が起きたり、手が振られたり、様々な反応がおき、これからの一年間への期待と希望を感じることができました。



10時からは保護者や地域の方々をお招きし、42人の新入生を迎える「入学式」を行いました。私からは新入生としてがんばってほしいことを3つお話ししました。1つ目は「元気よくあいさつや返事を



をしましょう」2つ目は「人の話をよく聞きましょう」3つ目は「友だちと仲よくしましょう」ということです。6年間という長い玉幡小での生活で、心もからだも伸びやかにたくましく成長してくれることを期待しています。在校生代表の6年生からは、新入生に対する呼びかけと合唱のプレゼントがありました。迫力ある歌声に、新入生全員が目を丸くして聞き入っていました。黄色い帽子と防犯ブザーの贈呈式を含めて約1時間、じっと座っていることは、小学校初日の新入生にとってとても大変だったと思います。しかし、担任の先生に名前を呼ばれた

ときは、大きな声で「はい」と返事をするのができ、前に立つ人の話を聞いたり、礼をしたり、主人公の態度として100点満点の頑張りだったと思います。新入生42人が加わり、平成30年度の全校児童は305人になりました。また、調理員さんを含めて私たち教職員は32人になります。子どもたち305人と教職員32人が心をつなげて、「毎日が楽しく学びのある学校」をつくっていきます。保護者の皆様や地域の方々のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



平成30年度の教職員紹介 よろしくお願ひいたします

分掌・担当	氏名
校長	望月 和彦
教頭	長谷川佳代
教務主任	杉山たみ子
養護教諭	上野なつみ
事務主査	山本 悦子
学校栄養職員	保坂 早絵
司書	小澤 美枝
A L T	ジョン・カーロ・バル
きめ細かな指導	田中 清登
なかよし1組担任	市川真理子
なかよし2組担任	油井由美子

分掌・担当	氏名
1年1組担任	内藤かんな
1年2組担任	高瀬 純子
2年1組担任	笠井 史
2年2組担任	吉成 真麻
3年1組担任	小野 駿太
3年2組担任	佐藤 美絵
4年担任	上杉 春樹
5年1組担任	田澤 優太
5年2組担任	畑 純子
6年1組担任	関口 哲也
6年2組担任	金丸 恭子

分掌・担当	氏名
講師	夏坂 良子
講師	秋山 典子
支援員	石井 光子
支援員	中込真里奈
支援員	中村恵美子
調理員	深澤みつる
調理員	平賀 良恵
調理員	清水 睦美
調理員	輿石 有里
調理員	松田 浩子

※この他に、本年度の本校の教育活動には、初任研拠点校指導員の鷹野園枝先生、日本語指導の名取勝朗先生が関わっていただけのことになっています。

登下校時の交通安全には細心の注意を！

4月6日（金）から15日（日）は「春の全国交通安全運動」でした。本校でも子どもたちの命を守る大切な時期と捉え、様々な取組を行いました。6日（金）から13日（金）の児童の登校時刻には、教職員が交差点など通学路の危険箇所立ち、集団登校の安全指導を実施しました。また、11日（水）の放課後には、下校時に児童の見守り活動を行ってくださっている「防犯パトロール



の方々の紹介の会」を開き、子どもたちがプレゼントを渡したり、新入生を加えた新しい登校班との顔合わせをしたりしました。

また、12日（木）には1年生と保護者を対象に、専門交通指導員の方々に交通安全教室を行いました。道路を歩行するときの注意点や道路を横断するときの注意点などを校庭で学習し、最終的には保護者と一緒に通学路を下校して、実際の道路での注意点を学びました。13日（金）には、4・5・6年生を対象とした交通安全教室を行いました。交通標識について学んだり、登校班のリーダーとして黄色い旗の使い方や横断歩道で集団を安全に渡らせる方法などを学習したりしました。



最近の新聞ニュースでは、「小学校1年生の交通事故による死傷者の割合は、6年生の約3倍になる」ということが報道されました。原因としては、危険を予測する能力がまだ低かったり、危険性を十分に理解していなかったりすることが考えられるそうです。今後も学校では、機会を捉えて積極的に交通安全教育を進めていきます。ご家庭でもお子様の命と安全を守るためのご指導をお願いします。